

科 目 名	教 育 相 談					開 講 キャンパス	神 園	
担 当 者	高 尾 兼 利							
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	教育相談の位置づけを理解させ、基礎知識（心理的適応、心理検査、カウンセリング等）について教える。さらに教育相談の対象となる子どもの不適応（心身症、不登校、発達障害等）を取り上げる。この学習の後、具体事例を取り上げ、現実的取り組みの能力を養成する。							
授 業 の 到 達 目 標	1. 教育相談について関心を持ち、その位置づけについて説明できる。 2. 教育相談の基本的知識について理解し、実践に生かす意欲をもつ。 3. 教育相談の対象となる子どもの不適応について自らの心理的体験を通して理解できる。 4. 教育相談の対象となる具体的事例について関心を持ち、共感的態度で理解し、その取り組みの技術の基本を実践できる。							
学 習 方 法	講義と演習を組み合わせた方法による							
テキスト及 び参考書等	適宜プリントを配布する							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験	◎	○		○	70			
小テスト等								
宿題・授業外レポート		○	◎		20			
授業態度			◎		10			
受講者の発表								
授業への参加度								
その他								
合 計					100			
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	教育相談の位置づけ							
第 2 週	基礎知識Ⅰ パーソナリティと適応							
第 3 週	基礎知識Ⅱ 心理検査							
第 4 週	基礎知識Ⅲ カウンセリングの技法							
第 5 週	カウンセリングの応答訓練							
第 6 週	子どもの不適応の特徴							
第 7 週	子どもの心身症の理解と支援							
第 8 週	不登校の理解と支援							
第 9 週	発達障害の理解と支援							
第 10 週	反社会的行動の理解と支援							
第 11 週	いじめの問題の理解と支援							
第 12 週	家族の理解と支援							
第 13 週	子どもに対する教育相談の具体例に学ぶ							
第 14 週	家族に対する教育相談の具体例に学ぶ							
第 15 週	まとめ							
第 16 週								
備 考	授業前にはそれまで学んだことを振り返っておく、授業後はノートを頼りに学習したことを確認しておく。							